

事業番号	09 02 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検			
事業名	食の地域内循環と農山村発イノベーション推進事業		部局	農政部	課・室	農産物マーケティング室
			実施期間	H25 ～	E-mail	marketing @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

- ・海外情勢・円安の進行に伴う輸入原料の高騰や、SDGsの目標を達成するため、県産農産物の食品原料としての活用や環境に配慮した農産物の利用が求められている。
- ・このため、関係部局や食と農に関連する多様な主体と連携・共創した地域内循環（地産地産・地産地消）の取組拡大や、環境にやさしい農産物への消費者理解の促進、エシカル消費を意識した情報発信等の取組が必要である。
- ・また、農業生産資材等の価格高騰が続く中において、農業者の所得確保、営農継続のため、県民・消費者や小売等に対する再生産価格の確保についての農産物や生産現場への理解醸成が必要である。
- ・観光や外食産業に対する需要拡大に併せ、6次産業化をはじめ、地域資源を活用した付加価値向上に取り組む事業者等の経営改善や販路開拓に向け、専門家等と連携したサポートが必要である。

2 事業目的

- ・学校給食や宿泊施設、食品企業において県産農畜産物の活用を促進する。
- ・県民及び消費者に対し、県産農畜産物の適正な価格転嫁等を始めとする生産現場に対する理解醸成を促進するとともに、有機農産物等の環境にやさしい農業で生産された農産物を選んで購入するなどのエシカル消費の理解を進めていく。
- ・6次産業化をはじめ地域の多様な資源を活用した付加価値向上の取組が増加・進展し、所得の向上と雇用機会の創出により、農村地域の活性化を図る。

3 事業目的を達成するための取組

- ①食の地域内循環（地産地消・地産地産）の推進
- ＜食品企業＞
- ・県産食材の利用拡大、食品ロスの削減やエシカル消費につながる新商品開発の取組支援事業について、事業主体となる民間事業者が、R6国補正予算により国から直接採択を受けたことによる減額補正を実施。
- ※その他の事業は当初予算、1月補正予算のとおり
- ②農山村発イノベーションの推進
- ・6次産業化をはじめ、地域資源を活用した付加価値向上に取り組む事業者への支援について、実績に合わせた減額補正を実施。
 - ・加工施設等整備への補助金について、事業主体となる民間事業者が、申請を次年度以降に先送りしたことによる減額補正を実施。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし ―：数値なし）

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	推移	実績	推移	実績	推移			
①	学校給食における県産食材の利用割合（金額ベース）	%	69.2	↗	69.6		68.1	↘	73.0		学校給食における県産食材の積極的な活用と食育を推進するための指標として、県産食材の利用割合を設定。
②	6次産業化等の重点支援事業者の付加価値額の向上率	%	110	↘	105		95	↘	110		重点支援事業者が所得向上につなげることができる付加価値額の向上率として設定。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
2-2②	地域内経済循環の推進	売上額1億円を超える農産物直売所数	施設	2022 (R4)	57	2023 (R5)	69	2024 (R6)	79	2027 (R9)	73
2-2②	地域内経済循環の推進	売上額1億円を超える農産物直売所売上高	億円	2022 (R4)	194	2023 (R5)	217	2024 (R6)	260	2027 (R9)	186
2-2②	地域内経済循環の推進	エシカル消費につながる行動のうち、地産地消を実践している割合	%	2022 (R4)	46.5	2023 (R5)	50.1	2024 (R6)	48.4	2027 (R9)	50

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額				合計		決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	(予算現額)	うち一般財源		
R7年度	0	171,677	△ 46,146	△ 54,977	125,531	1,261		3.0
R6年度	0	71,577	△ 55,944		15,633	1,361	13,833	3.0
R5年度	0	157,262	△ 136,155		21,107	1,647	17,138	3.0

事業番号	09 02 02	細事業一覧（令和7年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検		
事業名	食の地域内循環と農山村発イノベーション推進事業			部局	農政部	課・室	農産物マーケティング室

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
1	食の地域内循環推進事業		6,007 千円	3,377 千円	予算現額 12,308 うち今回 補正額 △ 8,000 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	次代を担うこどもんなか食育プロジェクト	委託 直接	・幼児から児童期の子を持つ親への食育活動と給食を実施 ・県産農産物の「活用促進と食育」を行うコーディネーターを派遣 ・生産者団体等と連携した産地見学会を実施 学校等へのコーディネーターの派遣：7か所		
2	農産物直売所等の活性化に向けた取組の推進	直接	・農産物直売所運営アドバイザーによる運営手法等の助言 ・農産物直売所の機能強化セミナーを開催 アドバイザー派遣先：7か所		
3	地域愛を育む地域内経済循環推進プロジェクト	委託 直接	・「おいしい信州ふーど」キャンペーンと連携した広報を実施 ・生産現場、生育過程、流通過程等を紹介する動画やオリジナル曲（R6作成）を活用した広報活動を実施（「しあわせバイ信州運動推進事業」との連携） ・県産米の魅力を発信するポスター等を製作し、イベントや啓発活動を行うとともに、SNS等を活用した広報を実施 新聞広告：4回、広報イベントの開催：2回		
4	県産米等の価値魅力発信事業	委託	・県産農畜産物の地産地消を推進する情報発信や啓発活動を実施 ・県内実需者と生産者をつなぐ商談会等を開催 イベント等開催：3回、商談会開催：2回		
5	信州の食を活かした観光地域づくりの推進	補助金	観光協会やプロスポーツチーム等による地消地産・食農体験等の新たな取組を支援 支援団体数：7団体		
6	県産農産物を活用した商品開発支援	委託 補助金	・生産・加工・流通に関わる多様な事業者が参画する地域食品産業連携プロジェクト（LFP）プラットフォーム設置による、地域食材を活用したビジネス創出への支援 ・食品企業等と連携した新商品開発への取組を支援 事業主体となる民間事業者が、R6国補正予算により国から直接採択を受けたことによる減額補正を実施 プラットフォームへの参加事業者数：190者		

細事業 No.	細事業名		R5年度 予算現額	R6年度 予算現額	R7年度 予算
2	地域が輝く信州農山村発イノベーション推進事業		15,100 千円	12,256 千円	予算現額 113,223 うち今回補正額 △ 46,977 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	農山村発イノベーションサポート事業	委託	・事業者の経営改善に向けた戦略策定・実行への支援 実績に合わせた減額補正を実施 ・販路開拓や商品デザイン改良等事業者のスキルアップセミナーを開催 戦略策定・実行支援対象事業者数：6事業者、セミナー開催数：7回		
2	農山村発イノベーション推進事業	補助金	国の補助事業による地域食材の活用のための施設整備等への支援 ・事業主体となる民間事業者が、申請を次年度以降に先送りしたことによる減額補正を実施 補助対象事業者数：1事業者、補助総額：100,000千円		